

調 査 ・ 研 修 等 計 画 届 出 書

令和 6 年 9 月 30 日

瀬戸市議会議長 様

議員名 柴田 利勝

政務活動 として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記

期 日	令和 6 年 10 月 17 日から 10 月 18 日まで（ 1 泊 2 日）	
調査先・研修名	全国都市問題会議 健康づくりとまちづくり	
会場名（会場所在地）	アクリエひめじ（姫路市文化コンベンションセンター）	
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	健康づくりとまちづくり 市民の一生に寄り添う都市政策についての研修 本市も含め全国的に市民の健康づくりについては、それぞれ市町でそれぞれの政策を実行している、それらについて事例研究成果を学び、今後の委員会などでさらに研究していくべきと考える。	
議長名の依頼	要 ・ ☒ 不要	依頼先（名称）
同行者名		

※行程表を添付してください。

調 査 ・ 研 修 等 報 告 書

令和 6 年 11 月 15 日

瀬戸市議会議長 様

議員名 柴 田 利 勝

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期 日	令和 6 年 10 月 17 日から 10 月 18 日まで(1泊2日)
調査先・研修名	全国都市問題会議
会場名(会場所在地)	アクリエひめじ(姫路市文化コンベンションセンター)
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて)	健康づくりとまちづくり 市民の一生に寄り添う都市政策についての研修 本市も含め全国的に市民の健康づくりについては、それぞれ市町でそれぞれの政策を実行している、それらについて事例研究成果を学び、今後の委員会などでさらに研究していくべきと考える。
調査先の事業の現状・課題 / 研修で学んだこと・キーワード等	
10月17日 9時30分～16時30分 健康づくりとまちづくり 1、これ迄の「健康づくり政策」を振り返る 2、自治体は住民の健康づくりをしてどう貢献できるか 3、今後の「健康づくり政策」における課題と方策 4、新たな時代の「健康づくりとまちづくり」を考える 我が国の健康づくり運動は、1978年の「第1次国民健康づくり」を皮切りに様々な計画が展開されて 2013～2023 年までは「健康日本一」が健康づくり政策の基本方針として掲げられた。これは、「全ての国民が共に支え合い、健やかで心豊かに生活できる活力ある社会の実現」を目標に①健康寿命の延伸・健康格差の縮小、②	

生活習慣病の発症予防・重症化予防、③社会生活機能の維持・向上、④健康のための資源へのアクセスの改善と公平性の確保、⑤生活習慣の改善、以上5点を「健康増進に関する基本的な方向」として位置づけてきた。

そうして、2022年健康日本一に関する最終評価報告書が公開された。そこには、過去の健康づくり政策に関する評価内容が記され、A評価として、健康寿命の延伸や、がん死亡率の減少、認知症サポーターの増加。特に平均寿命は延伸しているが、平均寿命と健康寿命との差は縮小傾向に無いため、まだまだ充分な取組みとは言いきれない。D評価では、メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少、生活習慣病のリスクを高める飲酒をしている者の減少、また、睡眠による休養を充分に取れていない者の減少などが挙げられる。住民生活に密接に関わっている自治体に期待される、国民一人一人の健康づくり政策には地域の実情を踏まえた独自性のある健康づくり政策が期待される。

2024年度から2035年度まで「健康日本一」で新たな健康づくり政策が展開される。新計画には、「全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現」がビジョンで、それを「誰一人取り残さない健康づくり」と「より実効性をもつ取組み」の2つから実現できるよう定められている。

生命を捉えなおすー青山学院大学 生物学者 福岡伸一 氏

人が生命の問題を考えると前提がある。それは生命とは手、足、胴体、頭といった各臓器「部品」が組み合わさってできた見方、機械論的生命観であるから、壊れたところは取り換えればいい、古い所は新しくすれば良い。しかし、この考え方は私たちの身体を考える上で正しいか？

ユダヤ人科学者ルドルフ・シエンハイマーは生命の姿は、機械論ではなく、生命が、流れの中にある、人が食べた分子は、体を構成する分子と絶え間なく交換され続けている。部品自体のダイナミックな分解と合成の流れの中にたゆまう‘分子のよどみ‘なのである。自ら積極的に壊し続けることによって、系内にたまるエントロピーを捨て続け、またそれを作り直すことでバランスを保つ。それが生命体の特性であるこれを「動的平衡」と呼ぶ。

生命体は作るよりこわしている、あらゆるものが壊されることが前提であらかじめ作られている。これがまちづくり、都市づくりになっている。あらゆる生命物質はこわされる事はこわされる事を前提としている。

市民の「life」（命／くらし・一生）を守り支える姫路の健康づくりとまちづくり
姫路市長 清元秀泰 氏

市民による主体的な介護予防を促進

認知症への進行予防を支援するための取組みとして、「通いの場」への参加促

進は地域住民同士が気軽に集い、一緒に活動内容を企画し、ふれあいを通して「生きがいづくり」「仲間づくり」の輪を広げ、地域の介護予防の拠点ともなる場所である。市内 470 カ所では高齢者の運動機能の維持、向上を目的に 1 回程度活動する「いきいき百歳体操」が開催されている他、市内各地域における高齢者が自由に参加可能な通いの場の支援活動を行っている。つぎに、MCI 等の把握・予防支援、通いの場などでチェックリストによるセルフチェックを実施し、市内 2 カ所の認知症疾患医療センターと連携し、認知症や MCI の可能性と、鑑別診断の要否のスクリーニングを実施することで、MCI の早期発見に繋げている。

姫路市ウオーカブル推進計画を策定「居心地がよく歩きたくなるまちなか」の形成に取り組んでいる。確かに姫路駅から姫路城迄約 0.8 km は歩道が広く植栽と待ち合せや休憩が出来る憩いの場も設置され、車も一般車両は走行できない為、歩くのに環境が整っている。さらに「市民一人一人が暮らしに満足し、自分らしい生活が出来るまち（姫路）」の実現を目指し、姫路版スマートシティ事業を推進している。

また、こどもの未来健康支援センター「みらいえ」も開設している。思春期健康、母子保健の包括的な支援拠点とした。みらいえでは、相談、交流、学び合う、をコンセプトに、思春期の若者や、妊産婦、子育て中の保護者やその家族など様々なニーズに応じた専門的な相談に対応している。

千葉県流山市 市長 井崎義治 氏

流山市は 2007 年に健康都市宣言を行い、流山市健康都市プログラムを策定し、健康に係る事業を 5 つの分野に分け、健康都市施策を展開している。1、子育て環境の充実・長寿社会対応のまちづくり、2、緑の回復、保全と安心・安全のまちづくり、3、地域の豊かな文化とスポーツを楽しめるまちづくり、4、心と体を健やかに育むまちづくり、5、安全で健やかな食生活を楽しめるまちづくり、である。

当初の取組みは「駅前送迎保育ステーション」＝保育園バスの専用バス停、と「グリーンチェーン戦略及び認定制度」＝開発で失った緑を回復するため、土地所有者、開発事業者、購入者それぞれを担い手としながら関係性の実現に工夫した。認定基準として、沿道の植樹・植栽の本数や植樹時の高さを規定し、認定物件の環境価値が確実に高まるよう規定した。

10 月 18 日 9 時 30 分～12 時

パネルディスカッション

中央大学法学部教授 宮本太郎 氏

少子高齢化時代のまちづくりを考える時、「元気人口」を増やすことが焦点であると考えます。元気、健康はどのような市民を考えながら施策をすすめていくか、自治体が出来ることが何か？

三木宗弘＝高岡病院児童精神科医

まちづくりをテーマに議論すると少子高齢化というワードが登場する。高齢化は喫緊の課題としても、なぜ子どもが気になるかという点、それは「子どもは、未来の大人だから」という事に尽きる。20年30年後地域や社会を考えた時、その社会を作っているのは間違いなく今の子供達である。日常を暮らしていると目の前の事や自分が高齢者になった場面の事ばかりを考えているが、その未来が活気ある社会になっているかどうかは、実は私たちが「未来の大人」のことをキチンと考えているかにかかっている。しかし残念なことに、その子供たちが、いま、とてもしんどくなっている。子どもの心や暮らしの悩みや質や置かれた立場が、年々悪くなっている。それをどうすれば解決できるか。そこで「子供の心の健康」を考えていきたい。

「健康」とはWHOでは「健康とは、病気や虚弱でないと言うだけでなく、肉体的、精神的、及び社会的に完全に良好な状態である」これは、biopsychosocial model (生物心理社会モデル)＝病気や障害を単一の病因で説明するのではなく、心理社会的な要因も含めた複合的な要因が影響しているという考え。

このように近年では予防医学や社会医学的な健康にも注目が集まっており、さらにはウエルビーイングといって肉体的、精神的、社会的に充実していることが健康という概念も出てきている。

暮らしの中で古くは自治会など地域コミュニティで頻繁に顔を合わせる事で、相手がどんな人かなんとなく解かったり、共同作業を通じて仲が深まったりしていた。この事で少しぐらいのトラブルは流すことが出来たり、困ったとき頼ったりすることが出来た。このように顔の見える付き合いが減っている中で何かあった時に周りがどんな人か分からず、全て自分で解決しないとしたら、それは住みやすいまちか、それは違う、でも現代のまちにはそのような安心感が乏しい。これと同じように地域でこどもが安心して暮らしていけるまちづくりが求められている。

コミュニティづくりや安心感作りは簡単ではない。しかし、「子育て支援が充実している自治体」というイメージは、一つの安心感の提供になる。日本の健康保険制度は解りやすく住民・国民の安心・安心感に大きく寄与している。

NPO 法人 日本栄養パトネット理事長 奥村圭子 氏

栄養パトロールは「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」のモデル事業を津市と大府市とともに実施した。

栄養パトロールの目的は、健康寿命を延伸することで医療依存度を高めないようにすることである。対象者は、地域全員であったり、健診や医療にかかっていない健康状態が不明な人など、市町村のニーズによって決める。市町村は栄養パトロールを始める前に地域で説明会を開き、パトロールの案内と共に低栄養やフレイル、食欲を評価できるアンケートを送付。パトロールを行う管理栄養士がアンケートを回収するため自宅訪問することも説明する。アンケートを回収する理由は、指導ではなく世間話をしながらアンケートを回収することで、顔の見える関係をつくりやす

くすること。一般的に拒否された場合は、健康状態は把握できないと諦めてしまう自治体も多いが、パトロールは、どんな人にも会いに行ける仕組み、そのため拒否されても、本人の姿や会話の質や立ち振る舞いから、拒否しなければならない理由を察することが出来る。さらにパトローラは拒否した人とどんな内容であろうとも対話することでWHOの問診票を用いて評価することが出来る。回収したアンケートは、集計、分析して客観的にハイリスク者を抽出するために使う。ハイリスク者は、本人に適した栄養ケアを栄養パトローラが行うことになる。

そのほか長野県茅野市長 今井 敦 氏

未来型「ゆい」で紡ぐ健康高原都市・茅野の構築

古くから湯治場、静養地として訪れる人を癒し、健康に導いてきた歴史と、それを支える豊かで雄大な自然を背景に、40年前から諏訪中央病院と開業医が中心となって地域ケア・在宅支援を行ってきた。また、各地域では、住民自らが保健補導員や食生活改善推進委員となり、保健師と一緒に地域の疾病予防や健康づくりの為に保健活動を行うなど、医療機関と地域が一体となり地域医療や健康増進の取組みを行ってきた。

大阪府泉大津市長 南出賢一 氏

「未病予防対策先進都市」を目指した「官民連携」「市民共創」のまちづくり

市では、身体機能や能力、技能、才能など広く健康を「アビリティ」と捉え、市民一人一人の身体機能が整う、能力、技能、才能などが伸びる、人やまちの免疫力を高めるまちづくり「アビリティタウン構想」を掲げ、健康、環境、教育の分野を中心に課題の本質にアプローチする取り組みを推進している。

調査・研修の成果・考察

(瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等)

少子高齢化が進む社会においては、あらゆる世代の人々が社会で活躍できるよう、一人一人の状況に応じて多様な社会参加が出来る環境整備を進めることが必要であり、その前提が「健康」である。また、長寿だけでなく、健康寿命を延伸させることが重要である。

本市も市民の健康づくりにはそれぞれの担当課で政策を実行している。今後も国の「健康日本一」を目指して健康づくりを進め、特に高齢者が元気の日常生活が出来るように、また、そのことで医療費などの削減にも影響が出てくることを期待する。

行程表

乗り換え案内ヨルダン <http://www.jorudan.co.jp/>

※往復利用の場合は、往復料金を入力してください。

日付	出発駅	交通手段	片道/ 往復	到着駅	距離		交通費			
							運賃		特急料金 等	
6 年 10 月 17 日	瀬戸市	愛環	片道	高蔵寺	6.2	km	280	円		円
	高蔵寺	JR	片道	姫路	302.3	km	5,500	円	4,460	円
						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
	宿泊先名称				TEL		宿泊料金			
	姫路駅前ユニバーサルホテル				079-222-4000		9,900 円			
備考欄										

20,140 円

日付	出発駅	交通手段	片道/ 往復	到着駅	距離		交通費			
							運賃		特急料金	等
6 年 10 月 18 日	姫路	JR	片道	高蔵寺	302.3	km	5,500	円	4,460	円
	高蔵寺	愛環	片道	瀬戸市	6.2	km	280	円		円
						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
	宿泊先名称					TEL		宿泊料金		
							円			
備考欄										

小計 10,240 円

日付	出発駅	交通手段	片道/ 往復	到着駅	距離		交通費			
							運賃		特急料金	等
年 月 日						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
	宿泊先名称				TEL		宿泊料金			
							円			
備考欄										

パック等による割引など

小計 0 円

円

宿泊費 合計

交通費 合計

9,900 円

20,480 円

申請額合計
(宿泊費+交通費-割引代)

30,380 円